

平成21年10月3日

福知山FM放送 第10回番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成21年9月29日(火)午後6時～

2. 場所 京都府福知山旭が丘111番地
北関西IITメディアセンター福知山2F セミナールーム

3. 出席状況 総委員数 9名

出席委員数 5名

出席委員の氏名 大槻敦巳 委員
勝方 努 委員
藤田佳宏 委員
藤原公子 委員
松田 規 委員

放送事業者側出席者名

代表取締役社長 松井喜久夫
局長補佐 水寫孝彦

4. 議 題 1) 福知山FM放送局概況報告
2) 放送番組全般に対するご意見
3) 次回番組審議会の開催日時について
4) その他

5. 議事の概況

- 1) 代表取締役社長 松井喜久夫より、前回審議会以降の概況報告が行われた。
- 2) 各委員より放送番組全般に対する意見が出され、それぞれ代表取締役社長松井喜久夫が答申した。
- 3) 次回番組審議会の開催日時について協議がなされた。
- 4) その他、代表取締役社長松井喜久夫より今後の放送展開についての説明が行われた。

6. 審議の内容

- 1) 福知山FM放送局概況報告
代表取締役社長松井喜久夫より前回審議会以降の概況報告が行われた。

- ・ 緊急割込放送について

8月1日・8月10日に大雨による緊急割込放送を実施。生放送の番組内では避難準備情報や由良川の水位情報、イベントの中止情報、市バスの運行情報など、災害情報を放送した。

9月6日の福知山市地域防災訓練において市役所からの割込み放送訓練を3回にわたり実施。

- ・ アマチュア無線クラブについて

9月1日に発足。随時、福知山市民からの会員申し込みを受け付けており、現在3名が仮申し込み。

- ・ ドッコイセ福知山花火大会特別番組について

8月15日のドッコイセ福知山花火大会に併せ、商工会議所をスポンサーとした特別番組を放送。現地からの中継も交え、スタジオでもライブカメラを通して花火の様子を見ながら状況を伝えた。また、今回は新企画としてメモリアル花火が催され事前告知や応募メッセージの読み上げを番組内で行った。

- ・ 第17回夜久野高原まつり司会請負

8月30日の夜久野高原まつりにおいてFMキャッスルのパーソナリティが司会を務め、ステージイベントの進行等を行った。

2) 放送番組全般に対するご意見

大槻委員長の議事進行のもと、各委員が前回審議会以降の放送番組全般に対する意見を述べた。

出された意見及びその答申は以下の通り

(委員) 取材や編集の仕方が上手になってきた。稲刈りの放送なども子供から大人までうまく言葉を引き出せていた。季節を感じ取れ、地域色のある放送は良い。

(事務局) 再放送も行い、番組制作の効率化と番組の質の向上を両立させるように努めたい。

(委員) キャッスルミュージックシャワーにおいて、ランダム再生機器の運用後、一度流れた楽曲がそれほど間隔もなく再度流れる事があるが改善はできないか？また、楽曲名とアーティスト名の紹介するようなことはできないか？

(事務局) 再度流れる曲については現在の設定を確認して可能であれば対応しなければならない。楽曲名・アーティスト名の紹介に関しては現状ではそこまでの対応は難しい。

(委員) サイマル放送を聞いているが思ったより音質が良い。山間部では電波が届きにくいので、電波で聞くよりもサイマル放送で聞いた方が安定していて音質が良い地域が多いと思う。また、若者はパソコンを触っている時間が多く、そんな時にパソコン操作をしながらサイマル放送を聞くということも結構あるのではないかと思う。

(事務局) サイマル放送についてはもう1年以上やっているが、それなりに評価をさせていただいている。広報の面から興味を持っていただけることも多く、今後は放送と通信が融合していく形も模索していくことになる。

(委員) やはり地域密着という点では現地へ出かけて行っの取材というのが効果的であると思う。最近は多くの場面でFMキャスルが取材に出かけているが、収録に参加したり収録の様子を現地で見たりするとやはり放送を聞きたいなと思う。また、その際に放送日時を伝えることも必要。

(事務局) 確かに現地取材は力を入れるべき部分だと思う。取材にしてもまだまだ新聞社さんにはかなわないが、紙面とは違った切り口を意識して音を通して伝えることがFMキャスルの地域メディアとしての役割かなと思っている。

(委員) 放送を聞いていると、「音の持つ可能性」に気付かされる。砂利道をザクザクと歩く音など、取材で得た人の声だけでなく自然環境の音などを拾う事で、聴き手が色んな情景・イメージを浮かべながら聴く事ができる。そういった「音の持つ可能性」を研究していくことで良い番組づくりにつながるのではないかと思う。

(事務局) 個々の取材能力を高め、各地の地域性や季節感、現地の状況を表すような音も拾っていき、聴き手のイメージを膨らませられるような取材・放送をしていく。また、音を生かすための企画なども研究していきたい。

3) 次回番組審議会の開催日時について

大槻委員長の議事進行のもと、次回番組審議会の開催日時について協議した結果、11月24日(火)に決定した。

4) その他

代表取締役社長松井喜久夫より、今後の放送における展開について説明が行われた。大槻委員長が閉会にあたっての挨拶を行い、第10回番組審議委員会を閉会した。

7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった措置

特になし

8. 審議機関の答申または意見の概要の公表

事務所に備置き 平成21年 10月 3日

ホームページに掲載 平成21年 10月 8日

9. その他

特になし